

ミズナラ



写真／新城仙台山の三本ナラ
(豊岡町251番地)

芦別市の指定文化財で、推定樹齢い
ずれも442年以上のミズナラ巨樹3本。
敷地内には昭和2年建立の水神碑があ
る。

〒075-8501北海道芦別市本町14番地 TEL0124-22-2701

看護師を募集しています

全国的に看護師不足が叫ばれている中、市立芦別病院も例外ではなく、常に数に余裕のない状況で看護師が働いております。そのような中で、中途退職や病気療養、お産、育児のための休暇取得者の補充が追いつかない状況にあります。

このように看護師不足が常態化すると、患者様に対して安全な医療、看護の提供ができなくなるばかりではなく、現在働いている看護師一人一人の負担が増加し疲弊しきって市立病院を辞めてしまう、と言った悪循環に陥る可能性があります。また、患者数に見合った看護師がいないと診療報酬にも影響があり、病院の収益にも影響します。そこで、

- ・看護師免許はあるけれど、今は働いていないという方、
- ・ブランクがあるので、ちょっと…と尻込みしているあなた、
- ・子供が小さいので働くのは無理と思っている方、
- ・夜勤はむずかしいと思っている方、
- ・一般病院でのスキルアップを目指しているあなた、
- ・転勤や結婚で芦別に来られた看護師さん、
- ・市外の病院で看護師として勤務しているが、芦別に帰ってきたいと思っているお子様、知人あるいは友人がいらっしゃる方



是非、お電話下さい!!

当院は産前産後、育児休暇はもちろんのこと、復帰後の育児短時間正職員制度や看護・介護休暇等、福利厚生は充実しています。また、教育体制もしっかりしております。

あなたの働ける時間帯や曜日など、まずはご相談下さい。

【お問い合わせ】市立芦別病院事務局総務係／電話 22-2701 (内線 215)
市立芦別病院看護部 / 電話 22-2701 (内線 204)

市立芦別病院ホームページもご覧ください。

●病院ホームページ アドレス

http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/byoin_jimukyoku/ashibetsu_hospital/index.html

◎院内広報紙「ミズナラ」は、院内各所に掲示し、病院ホームページに掲載しているほか、白黒で両面印刷したものを病院1階ロビーに用意していますので、ご来院の際、ご自由にお持ち帰りください。



インフルエンザ予防接種のお知らせ

市立芦別病院では、次のとおり「インフルエンザ予防接種」を実施しています。

- 1 実施期間 平成23年11月7日からワクチンが無くなるまで。
- 2 接種する日 外来診療日
- 3 接種する診療科

内科・循環器科・外科・整形外科・麻酔科・泌尿器科を定期的に受診している方	左記以外の方	※妊娠している方及び妊娠している可能性のある方
定期受診時に申し込みを受けて接種します	内科で接種します	「妊娠中の接種に関する安全性が確立していない」ため、当院で妊婦健診を受けている方のみ産婦人科で接種します

- 4 受付時間 時間を厳守させていただきます。

午 前	午 後
8時30分から11時30分まで	<u>接種する診療科ごとに接種日、受付時間が異なりますので、確認のうえ、ご来院ください。</u>

- 5 持参するもの 診察券
- 6 接種回数

13歳以上の方	13歳未満の方	①13歳未満の方は、4週間程度の間隔を空けて2回目を接種します。 ②当院で1回目の接種を受けた13歳未満の方の2回目のワクチンは、別途確保します。 ③13歳未満の方の2回目の接種のみについても受付します。
1回	2回	

- 7 接種料金 1回接種につき 2,000円（消費税込み）

※市民の方も市民以外の方も同じ料金です。ただし、下記の方は別料金となります。

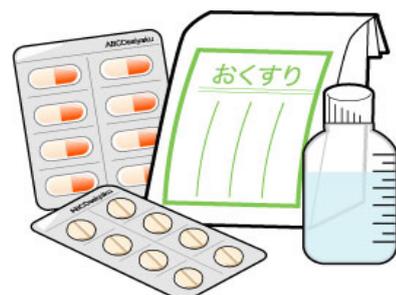
接種日現在65歳以上の市民の方	接種日現在60～64歳の方で心臓等の疾患が原因で身障1級の市民の方	左記2区分に該当する生活保護受給者世帯の市民の方
1,000円（消費税込み）	1,000円（消費税込み） ※身障者手帳の提示が必要です。	市健康推進係に <u>事前申請し</u> 、「受診票」を提示すれば無料となります。

【お問い合わせ】市立芦別病院事務局医事係／電話 22-2701

休日や時間外の定期の処方について

日中は待たされるから、平日は仕事で行けないから等の自己本位の理由で休日や時間外に定期の処方を希望して受診される方がいます。しかし、休日や時間外は、次の診療日までの最低限の処方しか出来ません。

医師が困っています。救急患者さん以外は、診療科毎の受付時間を遵守して下さい。



【お問い合わせ】市立芦別病院事務局医事係／電話 22-2701

平成22年度決算の概要

9月に開催された定例市議会において、平成22年度市立芦別病院事業会計決算が認定されましたので、その概要を説明いたします。（表1参照）

22年度は、外来、入院とも患者数が減少したことが影響し、前年度に比べて、医業収益が減少した一方、費用では、患者数の減少に伴う材料費及び起債償還計画による企業債利息が減少したものの、職員数の削減効果を上回る子ども手当等の各種手当及び退職給与金の増加により、前年度の費用を上回り、最終的には211,592,628円の純損失を計上しました。

入院患者数は、年間39,051人（1日平均107人）で、前年度比219人の減少、外来患者数は、年間90,648人（1日平均373人）で前年度比4,012人の減少となりました。

総収益は、決算額2,141,450,366円で前年度比9,889,659円の増収、総費用は、決算額2,353,042,994円で前年度比22,112,816円の増額となりましたが、総収支は211,592,628円の純損失となったため、22年度末における累積欠損金は2,949,146,855円となりました。

表1 平成22年度市立芦別病院事業会計の決算状況（平成21年度との比較）

区 分		平成22年度 A	平成21年度 B	増 減 A - B	備考
入 院	年延べ患者数①	39,051人	39,270人	△219人	
	1日平均患者数② ①÷365日	107人	108人	△1人	
外 来	年延べ患者数③	90,648人	94,660人	△4,012人	
	1日平均患者数④ ③÷診療日数	373人	391人	△18人	
医 業 収 益 ⑤		2,016,739,715円	2,028,620,472円	△11,880,757円	
医 業 費 用 ⑥		2,244,518,137円	2,213,741,016円	30,777,121円	※1
医 業 収 支 ⑦ ⑤-⑥		△227,778,422円	△185,120,544円	△42,657,878円	
医 業 外 収 益 ⑧		124,676,431円	102,384,172円	22,292,259円	
医 業 外 費 用 ⑨		108,232,819円	117,089,297円	△8,856,478円	※2
医 業 外 収 支 ⑩ ⑧-⑨		16,443,612円	△14,705,125円	31,148,737円	
経 常 収 支 ⑪ (⑤+⑧)-(⑥+⑨)		△211,334,810円	△199,825,669円	△11,509,141円	※3
特 別 利 益 ⑫		34,220円	556,063円	△521,843円	
特 別 損 失 ⑬		292,038円	99,865円	192,173円	※4
特 別 損 益 ⑭ ⑫-⑬		△257,818円	456,198円	△714,016円	
総 収 益 ⑮ ⑤+⑧+⑫		2,141,450,366円	2,131,560,707円	9,889,659円	
総 費 用 ⑯ ⑥+⑨+⑬		2,353,042,994円	2,330,930,178円	22,112,816円	※5
総 収 支 ⑰ ⑮-⑯		△211,592,628円	△199,369,471円	△12,223,157円	
累 積 欠 損 金 ⑱		2,949,146,855円	2,737,554,227円	211,592,628円	※6

- ※1 医 業 収 支 : 外来収益や入院収益など本来の医業活動から生じる収益【医業収益】から、給与費、材料費等の維持管理費など本来の医業活動から発生する費用【医業費用】を差し引いたもの。
- ※2 医 業 外 収 支 : 預金利息や一般会計繰入金など本来の医業活動以外の活動によって得られる収益【医業外収益】から、支払利息など本来の医業活動以外の活動によって発生する費用【医業外費用】を差し引いたもの。
- ※3 経 常 収 支 : 医業収益に医業外収益を加えた【経常収益】から、医業費用に医業外費用を加えた【経常費用】を差し引いたもの。プラスの場合は経常利益（黒字）で、マイナスの場合は経常損失（赤字）。
- ※4 特 別 損 益 : 固定資産の売却による損益や料金の時効による不納欠損など、突発的に発生する損益。
- ※5 総 収 支 : 経常収益に特別利益を加えた【総収益】から、経常費用に特別損失を加えた【総費用】を差し引いたもの。プラスの場合は純利益で、マイナスの場合は純損失。
- ※6 累 積 欠 損 金 : 今までの純損失（赤字）を積み上げた欠損金のこと。減価償却費などの現金支出を伴わない費用も含まれているため、直接、経営に必要な資金不足を表すものではありません。

以上が22年度決算の概要ですが、今後は、20年度に策定した「市立芦別病院改革プラン」に掲げた計画を23年度中に見直し、今後も市民の皆さまから信頼され、良質で誠実な医療の提供に努めるとともに、更なる経営の健全化に向けて努力してまいります。

市立芦別病院改革プランの進ちょく状況

市立芦別病院では、総務省が平成19年に示した「公立病院改革ガイドライン」に基づき、平成21年度から25年度までの5年間を計画期間とする「市立芦別病院改革プラン」を21年3月に策定して、経営改善に向けた取り組みを行っているところですが、このたび、22年度決算が確定したことを受け、経営効率化に係る数値目標などの進ちょく状況を取りまとめました。（表2、表3参照）

なお、詳細につきましては、市内の有識者で構成される「市立芦別病院事業運営委員会」における取り組み状況の評価とともに、市立芦別病院のホームページにおいて公表しています。

表2 財務に係る数値目標の達成状況

	22年度目標 ①	22年度実績 ②	達成状況 ②-①	備考
経常収支比率	91.2%	91.1%	-0.1ポイント ↓	経常費用(※)に対する経常収益(※)の割合
医業収支比率	89.3%	89.8%	0.5ポイント ↑	医業費用(※)に対する医業収益(※)の割合
職員給与費対医業収益	51.1%	50.4%	-0.7ポイント ↑	医業収益(※)に対する職員給与費の割合
材料費対医業収益	21.8%	20.5%	-1.3ポイント ↑	医業収益(※)に対する材料費の割合
薬品費対医業収益	12.9%	11.5%	-1.4ポイント ↑	医業収益(※)に対する薬品費の割合
累積欠損金比率	151.6%	146.2%	-5.4ポイント ↑	医業収益(※)に対する累積欠損金(※)の割合
病床利用率（合計）	79.9%	56.6%	-23.3ポイント ↓	（それぞれの区分ごとに）年延べ病床数に対する年延べ入院患者数の割合
病床利用率（一般）	81.5%	54.9%	-26.6ポイント ↓	
病床利用率（療養）	72.4%	66.0%	-6.4ポイント ↓	

注1) 網掛けの項目は数値が大きいほど良く、それ以外の項目は数値が小さいほど良い。

2) 達成状況の矢印について、↑は目標を達成したものの、↓は目標を達成できなかったもの。

3) 備考欄の※印の付いた用語は、前頁の「平成22年度決算の概要」の記事に解説があります。

ここに掲げた数値のうち経常収支比率は目標を若干下回りました。また、病床利用率は目標を大幅に下回っていますが、これは空き病床の有効利用策の運用開始が24年度に延期になったこととによります。なお、そのほかの目標は全て達成しましたが、経常収支比率を黒字化するためには、まだまだ経営改善に向けた努力が必要です。

表3 公立病院としての医療機能に係る数値目標の達成状況

	22年度目標 ①	22年度実績 ②	達成状況 ②-①
年延外来患者数	101,504人	90,648人	-10,856人
年延入院患者数（一般）	38,690人	32,067人	-6,623人
年延入院患者数（療養）	7,665人	6,984人	-681人

21年度と同様の診療体制を維持し、経営の健全化を目標に効率的な病院運営に努めてきましたが、人口の減少による影響はさけられず、ここに掲げた数値は、全て目標を達成することができませんでした。なお、年延外来患者数は、21年度と比べ4,012人(4.2%)減少し、一般と療養をと合わせた年延入院患者数は21年度と比べ219人(0.6%)減少しました。